

「南渡田地区におけるマテリアル産業拠点形成に関する協議会」 を設置します

川崎市は、臨海部における大規模土地利用転換の先鞭として、南渡田地区において次世代の臨海部を牽引する「マテリアル（素材）から世界を変える産業拠点」の形成を目指しており、先行地区（北地区北側）では令和9年度のまちびらきに向けた基盤整備が進んでいます。

こうした整備に合わせ、産業拠点としての価値・魅力を高めるためには、様々なステークホルダーが集まり、企業の成長や人材の育成、イノベーション創出などを促す仕組みを構築していくことが重要であることから、このたび、拠点が目指す将来ビジョンや成長戦略を検討する産学官連携の協議会を3月12日から新たに設置しますので、お知らせします。

1 協議会について

（1）目的

南渡田地区におけるマテリアル産業拠点形成に向け、多様な関係者とこの拠点が目指すビジョンや川崎臨海部のポテンシャルを十分に生かした成長戦略等の検討

（2）主な検討事項

南渡田地区の将来像及びその実現に向けた中長期のシナリオ、導入機能や提供サービス、関係者間の連携推進方策等

（3）メンバー

会 長：川崎市臨海部国際戦略本部 本部長

幹 事：JFEホールディングス株式会社、ヒューリック株式会社、ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社、川崎市

他会員等：マテリアル関連企業、アカデミア、川崎臨海部に立地する企業、インキュベーター、VC、金融機関、研究開発機関、関係省庁など24社（団体）

2 第1回協議会の開催について

（1）日時：令和7年3月12日（水）16時00分～17時30分

（2）場所：川崎市役所本庁舎301・302会議室

（3）議題（予定）：マテリアル産業拠点としてのあるべき姿/先行地区（北地区北側）における大規模研究開発拠点開業に向けた短期的戦略等

※ 議事内容については、非公開とします。

【問合せ先】

川崎市 臨海部国際戦略本部 戦略拠点推進室
下田 電話 044-200-3594

参考：南渡田地区の概要

1 経緯

令和 2(2020)年 3 月 JFE スチール(株)が京浜地区(扇島)の高炉休止を発表

令和 4(2022)年 8 月 **「南渡田地区拠点整備基本計画（以下「基本計画」）」を策定**

(基本計画の概要)

- ① 目指す方向性
：「**マテリアルから世界を変える産業拠点**」の形成
- ② 段階的な整備
：**北地区北側約 5.6ha を先行整備**
- ③ 北地区北側(I 期)の土地利用方針
：**研究開発機能や産業支援機能等を中心に誘導**



令和 5(2023)年 3 月 **JFE が北地区北側の事業者（ヒューリック(株)）を選定**

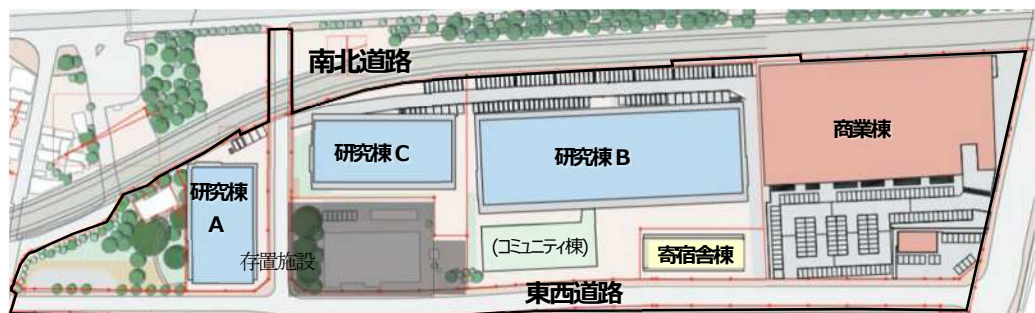
令和 6(2024)年 4 月 **北地区北側(I 期地区)事業着手**

令和 6 (2024)年 5 月 **川崎市が UMI (ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター) 株式会社と連携協定を締結**



2 北地区北側の計画概要

【全体配置図】



【建物計画案】



	研究棟 A	研究棟 B(コミュニティ棟含む)	研究棟 C	寄宿舍棟	商業棟
主要用途	研究所	研究所、店舗	研究所	寄宿舍	店舗
延べ面積	約 13,160 ㎡	約 60,390 ㎡	約 22,020 ㎡	約 4,040 ㎡	約 7,600 ㎡
建物高さ	約 33 m	約 57 m	約 51 m	約 24 m	約 10 m

※ 今後の協議等により変更が生じる可能性があります。